



■スタディーサポートの振り返り

4月に実施した、スタディーサポートの結果を受けての各教科からのコメントです。

●1学年

・国語

古文の知識の分野で知識量に差があるようである。中学校での扱い方に差があってそれが反映したと思われる。知識は身につければよいだけなのでしっかりと言語文化の授業やテストのなかで憶えていこう。いっぽう、読解力は平素の読書量とその質に負うところが大きい。大人向けの本を積極的に読むことで自然と読解力は身についていく。挑戦的な読書に取り組もう。また漢字は書き取り練習を積み重ねればだれでも読み書くことができるようになり、語彙も自然に増えていく。

・数学

全体的な傾向は、数学の成績の中上位層は、数学に比べて国英の成績が振るわない傾向が強い。分野別では、全国平均に比べて関数の平均点が特に低い。また数学の学習時間は少ないが、成績は比較的良いという生徒が全体の約23%おり、この生徒は今後の成績が急降下する可能性が高く、注意が必要である。生徒個人で今後の学習の課題は異なるが、今の時期一番大切なことは、1日1時間以上の数学の家庭学習習慣の確立と、予習→授業→復習のゴールデントライアングルの確立である。

・英語

本校の上級生の入学時と比較すると、語彙の分野とリスニングの成績が大きく落ち込んでいます。語彙や文法など知識として覚えるべきことは覚えた上で、読解・作文・リスニング・スピーキングと様々な技能に応用できるようになることを認識しよう。EC I と論・表の教科書や問題集、ターゲットなどで扱われる語彙・文法事項を必ず身につけましょう。自宅では復習として教科書本文の音読も繰り返し行い、英語の音声や語順に慣れていくことが必要です。

英語の学習を生活の一部として毎日行ってください。1年の初めに学習習慣を定着できなかった人が後から遅れを取り戻すのは難しいです。今が仕切り直しのタイミングだと考えて6月を迎えましょう。

●2学年

・国語

全体としては、昨年度から引き続き、古文・漢文の正答率が低い傾向にあります。読解のベースは単語、文法（助動詞・敬語・和歌の修辞）、句法についての知識です。現在、皆さんの手元にある単語帳や古典文法書、漢文必携で十分対応できるので、日頃から地道に勉強をしましょう。当然のことではありますが、時間はかかります。2年生のうちから勉強を重ね、ある程度知識を固めておくことが重要です。

・数学

過去回と比較をするとSゾーンの生徒が1年1回：1名から2年1回：7名へと増加しました。上位の者は順調に成績を伸ばしています。良いですね。全体のGTZはB2→B2維持。ただ、内訳としては全員がそのままの成績を維持しているというよりは、B2にいた人のうち、学力が上がった人と下がった人がおり、結果として平均がB2という印象です。順調に力をつけている人といまいち効果が出せていない人との差が出てきたように思います。過去年度と比較するとおよそ例年通り。B2ゾーンにいる人がボリュームゾーンとなっています。毎年、この「中の

中」にいる多くの人がどう変容するかでその学年の第一志望合格率が変わります。実は鍵を握るのはBゾーンにいる人です。・・・①

分野別に見てみると、図形と計量、すなわち三角比の分野が皆さんの弱点であり、全国平均を下回っています。抽象的な概念に対して苦手意識があるのかもしれませんが。この分野は学習量でカバーできる部分もありますので、演習を繰り返しましょう。ただ、危機感を感じるのは平日の学習量（全教科合計）です。ほとんどしないという人が22.7%もいることは非常に心配です。国公立ブロック大受験層の2時間程度家庭学習をしている生徒の割合21.4%に対し、本校は11.3%、3時間以上学習する人の割合は国公立ブロック大受験層12.7%に対し、本校は2%と、平日の学習量においてライバルたちと多くの差がついてしまっています。・・・②

①について、次のことを徹底して欲しいです。まずは、その日の授業内容を家庭で復習すること。そして、週末課題A問題レベルを完璧にすることです。週末課題については4STEPやチャートから、特に押さえてほしい基礎の問題のみを精選しています。そして定期考査及び模試後は必ず解き直しを行うこと。これだけで数学の力は確実に伸びます。

②について、上記内容を行うためには絶対に学習時間が必須です。つまり、現状は上記の内容が徹底できていないということです。まずはスマホの時間を減らし、学習時間を確保してください。家ではつい…という生徒はぜひ平常補習や学習室も活用してください。皆と学習することでモチベーションのキープができるかもしれません。

最後になりますが、本校の生徒皆が3年生になってから必ず言うセリフが「もっと早くから取り組んでおけば良かった」です。自分の人生を良くできるのは自分だけです。どうせなら我々だって第一志望校に合格して欲しい。進みたい道に進んでほしい。そのためには他でもない「あなた自身」が頑張らなければなりません。サポートをしてあげることができます。しかし、あなたの代わりに頑張ることはできないのです。ぜひ、今日から、いや今から変容してください。チーム2年の底力を見せてください。気合と根性。2年生の熱量をもっともっと上げていきましょう！期待しています。

・英語

傾向としては、長文読解問題とリスニング問題で点数が取れていません。

日々の授業のための学習に、しっかり時間を使えることが大切です。タンゴスタ、Insightの準備を一週間のスパンで計画を立てて、合格点をとれるようにすること。教科書の予習をする前に、まず初見でどのくらい理解できるか確認してから、単語調べやプリントの予習などに移ること。内容が分かった英文は何度も音読をすること。1年でやったように、日本語を見て、英語をリプロダクション（再生）できること。やれることはたくさんあります。

音読は、リスニングにも効きます。自分が正しく読めない音は、聞き取れません。音読を大事にしましょう。教科書や副教材でQRコードがついているものは、聞いてみて、リピートしたりシャドウイングの練習に大いに役立てましょう。授業時も、英文を読むタイミングには、自分でもしっかり発音しましょう。聞いているだけでは、読めるようにも聞けるようにもなりません。

● 3 学年

・国語

全体的に古文・漢文の得点がとれていません。古文については、助動詞・助詞、和歌、敬語の知識が特に中位層以下（B以下）で抜けています。漢文についても同様に、基本句形と漢文語彙が中位層以下では正答率が悪いです。4月にも触れましたが、古典文法と漢文句法は基本中の基本です。この1学期中に必ず覚えるようにしてください。少しずつコツコツ覚えることがポイントです！夏休みまでに覚えておかないと、2学期以降の問題演習に支障をきたします！

現代文の結果としては過去回と比べるとあまり変動はないです。それぞれ結果を振り返り、次につなげてください。スタディサポートの出題形式を考えると、本番（共通テストや二次試験の問題）でも同じ結果になるかはわかりません。油断せず、学習に取り組んでください。まずは語彙力を付け、テーマに対する理解を深めると良いでしょう。参考書がたくさん出版されているので、それぞれの実力や試験内容に合ったものを選んでやると良いと思います。国語の学習時間に関してですが、ほとんどやらない人の割合が平日は7割、休日は5割という結果になっています。やっている人でも1時間程度です。

それぞれの進路実現のために必要なことを考えてやっていきましょう。わからないこと、聞きたいことがあれば、遠慮なく担当に聞いてください。

・数学

1. 第1回スタディサポートの結果より

今回のスタディサポートの出題分野は、「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」「場合の数と確率」「図形の性質」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分法・積分法」「数列」「統計的な推測」「ベクトル」でした。前回のスタディサポートで課題となっていた「場合の数と確率」「図形と方程式」については、今回は全国平均を上回ることができました。これにより、数学ⅠAのすべての分野で全国平均点を超え、受験生としての基礎力が身についてきたと考えられます。

一方で、今回全国平均を下回った分野は「数列」と「ベクトル」です。これらは共通テストの数学ⅡBCにおいて得点源となりやすい重要な分野です。問題集4STEPおよび受験問題集シニアにしっかり取り組んでください。

2. 今後の取り組み方

(1) 数学ⅠA探究クラス

問題集リンク数学演習ⅠAの問題集に取り組んでください。解けない問題がなくなるまで繰り返し演習することが重要です。問題集が終了したら、書店で共通テストの実戦問題集を購入し、形式に慣れてください。また、志望校の過去問にも取り組み、出題されている数学ⅠAの分野の分析を行ってください。

(2) 数学ⅠAⅡB探究クラス

受験問題集シニアに取り組んでください。解けない問題がなくなるまで繰り返し演習することが大切です。授業の予習も兼ねて、数学ⅡBの問題演習にも取り組み始めてください。

また、志望校の過去問を解き、出題分野の分析も行ってください。

(3) 数学Ⅲクラス

このクラスは授業で数学Ⅲを進めているため、数学ⅠAⅡBCは家庭学習で進める必要があります。他教科とのバランスを考えながら、学習時間を確保してください。

数学ⅠAⅡBCの復習は、朝学習や昼休みなどの隙間時間を活用しましょう。

①数学Ⅲ

授業を中心に復習を重視して取り組んでください。問題集4STEPにも取り組み、基礎力と計算力を十分に養成してください。

②数学ⅠAⅡBC

受験問題集シニアを授業と並行して進めてください。まずは全章のポイントチェックを解き、その後にA問題へと進むと効果的です。時間に余裕がない場合は、*の付いている問題のみでも構いません。

・英語

知識・技能の分野では、基礎文法事項の復習が良くできており、語句整序の正答率が上がっています。少しずつ力が身につけてきている証拠ですので、引き続き頑張ってください。また、リスニングテストではほとんどの小問で全国平均を上回っており、学習の積み重ねが結果に表れています。今後も英語教材やスクリプトの音読・シャドーイングを徹底し、あらゆるジャンルの問題にも対応できるように力をつけていってください。

思考・判断・表現の分野では、長文読解において英文の意図の把握や推測をすること、英文の展開の把握をすることが弱い傾向にあります。引き続き単語集や問題集を通して語彙力を身につけ読むスピードを上げるほか、長めの英文を読み、それを瞬時に頭の中で「この文章の趣旨は何か」と要約する力が求められます。その力が、質問文における「英文の趣旨を問う問題」や「筆者の主張を問う問題」に対応するために必要となるでしょう。論説文や物語文の展開に意識を向けながら英文を読むことに慣れていくことで、少しずつ読めるようになってきます。授業や補習、課題などで日々向き合う英文を、以上のことに注意してぜひ取り組んでください。

■受験勉強は楽しい？

数学科 石田 幸伸

10年以上前の話だが、あるクラスの授業に行くと、「ジーニアスへの挑戦！！ $4 + 6 = 9$ 、 $9 + 5 = 6$ のとき、 $7 + 8$ は？」と黒板に書いてあった。生徒は答えを知っているのか、ニヤニヤしながら、「先生わかりますか」「そんなすぐわかるわけないだろ。少し考えさせてくれ」しばらく考えたが、全くわからない。「先生、ヒントをあげましょうか」生徒は僕がわからなくて苦しんでる姿が楽しいようだ。僕にもプライドがあったので、「いらない」と答え、再び考えたが見当もつかない。「一晩考えさせてくれ」結局、この問題は生徒からの宿題？となった。

とにかく考えた。通勤のときも、食事のときも、風呂のときも。そしてテレビを見ているときに、突然ひらめいた。答えに自信はなかったが、もし間違っていたら、「問題に不備がある」とクレームをつけることにした。そして翌日、「昨日の問題のこと、忘れてくれていたらいいなあ」と思いながら教室に入っていくと、生徒は待ち構えていたように「先生、昨日の問題解けましたか」僕は「一応解けたよ」と言って、解答を黒板に書いた。「おー」どうやら正解だったらしい。少しほっとした。

ふと、自分が高校生だった頃を思い出した。数学でわからない問題があると、最低3日は考えた。答えを見たい誘惑と戦いながらだ。考えた時間が長ければ長いほど、解けたときの喜びは大きい。これが数学の醍醐味だ。考えるということは、実は楽しいことなのだ。しかし、受験勉強は苦しい。だから僕は、家に帰るとまず好きな数学、理科をやり、テンションがあがったところで嫌いな科目（暗記科目）を勉強するようにしていた。あとで知ったことだが、人間は睡眠により、短期記憶が長期記憶に変わるそうなので、寝る前に暗記することは、理にかなっていたらしい。どうせ勉強するなら楽しく勉強したい。この姿勢は、教師になった今も変わらない。どうせ仕事するなら、楽しく仕事がしたい。だから僕は、楽しく仕事ができるような工夫を心掛けている。苦しい受験勉強も、ちょっとした工夫で楽しくなるはずだ。

また、受験勉強を楽しくするもうひとつの方法は、ライバルをつくることだ。高校時代、僕にもライバルがいた。1、2年のときに同じクラスで、名字の関係で2年間、前後の座席だった。高校の数学をなめきって、天狗になっていた僕に、勉強のやり方を教えてくれたのが彼だ。わからない問題があると（もちろん3日間考えたうえで）まず彼にきく。悔しいという気持ちより、さすがという気持ちのほうが強かった。逆に彼がきいてきたとき（めったになかったが）は、僕が教えた。ちょっと、いやかなり、うれしかった。ついに、勝ったぞと。もちろん2人ともわからない問題もあったけれど、2人で考えることで解けたこともあり、そんな時間がすごく楽しかった。彼は僕のことをどう思っていたか、今となっては知る由もないが、僕はライバルであり、絶対負けたくないと思って努力したつもりだ。そうして2人とも志望校に合格し、その後、僕は高校の数学教師に、彼は医者になった。

受験は団体戦だ。高い進路意識、目的意識を持った集団の中で、お互いを高めあい、友人と切磋琢磨できることは本当に幸せだと思う。みんなもぜひ、ライバルを見つけてほしい。

ライバルはすぐ近くにいるはずだ。